

Q1

ライダーとパッセンジャー446人中、ヘルメットを正しく着用していなかったのは何人でしょうか？



ヘルメットを正しく着用しているライダー



あごひもが緩い状態で走行するビジネスマンと思われるライダー

- 観察場所／東京都世田谷区太子堂2丁目付近
- 観察日／2007年5月11日（金曜日）
- 観察時間／15:50～16:50

Q2

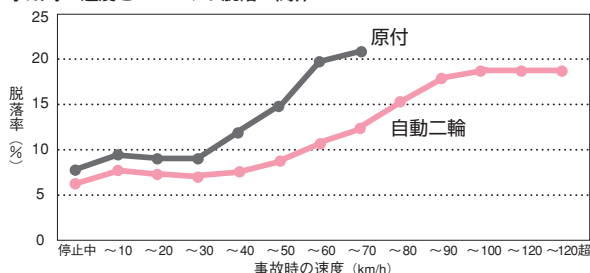
交通事故の際、ヘルメットが脱落してしまうことがある
二輪車乗車中死者（平成18年）の何%にヘルメットの脱落があったでしょうか？

こんな事故が起きています

速度が低くても脱落するヘルメットがある

30km/h以下では、速度に関係なく、原付では9%、自動二輪では7%程度のヘルメットの脱落率が見られる。比較的弱い衝撃でも、脱落してしまうヘルメットがあることや脱落しやすいヘルメットのかぶり方をしている人がいるからではないかと推測できる。

事故時の速度とヘルメット脱落の関係



((財)交通事故総合分析センター資料)

道路交通法

大型自動二輪等の運転者の遵守事項
(法71条の4第1項・第2項抜粋)

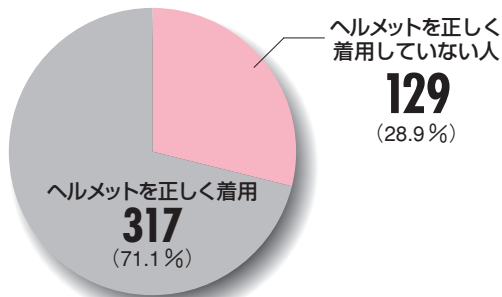
大型自動二輪または普通自動二輪の運転者は、乗車用ヘルメットをかぶらないで大型自動二輪または普通自動二輪を運転してはならない。また、乗車用ヘルメットをかぶらない者を乗せて運転してはならない。

原動機付自転車の運転者は、乗車用ヘルメットをかぶらないで原動機付自転車を運転してはならない。

……実際に観察しました

Q1の解答 129人 (28.9%)

●ライダーとパッセンジャーが着用しているヘルメットの形状と着用状況(446人中) ※()内：パッセンジャー数



		正しく着用	あごひもが緩い	あごひもをしていない	非着用	小計
原付 (125cc以下)	フルフェイス	11	3	6	2	22
	ジェット	35	12	8	0	55
	スリクォーター	18	9	3(1)	0	30(1)
	ハーフ	66	30(2)	7(1)	0	103(3)
小計		130	54(2)	24(2)	2	210(4)
大型 スクーター	フルフェイス	7	1	2	0	10
	ジェット	37(1)	7	6(1)	0	50(2)
	スリクォーター	4	1	0	0	5
	ハーフ	48(5)	10	1	0	59(5)
小計		96(6)	19	9(1)	0	124(7)
スポーツ タイプ	フルフェイス	41	6	3	0	50
	ジェット	20	4	2(1)	0	26(1)
	スリクォーター	4	2(2)	0	0	6(2)
	ハーフ	26(4)	2	2	0	30(4)
小計		91(4)	14(2)	7(1)	0	112(7)
合計		317(10)	87(4)	40(4)	2(0)	446(18)

※原付(125cc以下)206台、大型スクーター117台、スポーツタイプ105台、計428台

観察したライダー428人、パッセンジャー18人の計446人中、ヘルメットを正しく着用していなかったのは129人(28.9%)。あごひもが緩い状態が87人、あごひもを締めていない人が40人、ヘルメット非着用者も2人観察された。

車種別では、原付のライダーにあごひもが緩かったり、あごひもを締めていないライダーが多く見られた。

原付や大型スクーターでは、ハーフ型のヘルメットを着用している人が多かった。中には、ハーフ型の下に帽子をかぶっている例もあった。



ヘルメットを着用していないスーツ姿のライダー

CLOSE UP

不適切な着用は、若者だけではない

あごひもが緩い、あるいは締めていないライダーは、若者だけではなく大人にも見られ、配達関係やスーツ姿のビジネスマンにもあごひもが不完全な例が観察された。

Q2の解答 33.8% (原付36%、自動二輪32%)

((社)日本自動車工業会資料)

【解説】あごひもが緩いか、あごひもを締めていないことにより、交通事故の際にヘルメットが脱落してしまうケースも多い。せっかくヘルメットをかぶっていても、不適切な着用では頭部を守ることができない。

ここがポイント

- ヘルメットは、あごひもをしっかり締めて正しく着用する

ワンポイントADVICE

ヘルメットはしっかり選んで、正しくかぶる

ヘルメットは頭部の保護効果が高い。しかし、正しくかぶらないと、事故の際に十分な機能が発揮されないおそれがある。自分に合った安全なヘルメットを選んで、適切な着用が必要だ。

<ヘルメットの安全ポイント>

- 「SG規格・PSCマーク」の付いた、安全基準に適合したものを選ぶ
- きつすぎず、緩すぎず、ぴったりのサイズを選ぶ
- きちんとあごひもを締める
- シールドつきのものは、シールドのキズに注意する(光の乱反射を起こし視界の妨げになることがある)
- 夜間走行時には濃い色のシールドは避ける